



宇宙特急便



旅の途中(創業にまつわる話あれこれ) ⑪

この頃結婚した。長男が生まれたものの光化学スモッグ最悪期で家族の体調まで悪くなり転地療養を考えてみたり、といろいろ悩んだあげく転職を決めた(のちに大磯へ引越す)。この出来事は広島の実家を守る父の思いから決別する最初の狼煙になったと思う。中途採用が珍しい時代。親会社が伝統を重んじる海運会社とはいえ子会社の航空貨物会社のチャレンジングな採用姿勢に驚いた。

入社直後から実務を体系的に一から学ぶ。続いて熱海での泊まり込み合宿はきつかった。輸出入実務に航空・海運の区別はない。促成栽培で航空・海運・関税・貿易取引等の知識習得の怒涛の日々。駆け出しの営業マンとして都内輸出営業所に配属される。新調したポケットチーフにスリーピース姿で所長に連れられ新任挨拶のため大手商社へ。部署の課長が私を見ながら「おたくも雑種を採用するんですなあ」と、にこやかにおっしゃる。。



創業点描



40年前。
門前仲町
の思い出



両脇の男女は数年後結婚することになる。結婚式の司会役をお受けした。ちなみに彼女はある雑誌のカバーガールになった。ブラボー！

高校卒業後入寮してきた女子事務員さんたちと。搬入作業を手伝う。カメラの後ろにたくさんのはにかみ屋の男どもがいる。



誕生日おめでとう。

- 9日 A・H
- 9日 A・H
- 9日 K・T
- 18日 Y・H
- 24日 S・Y

二十四節気

6日 芒種(ぼうしゅ)
穀物を植える時期

12日 夏至
昼の長さが最も長くなる



日の出 4:28
日没 19:01

今月のひとこと

最後にはすべてうまくいく。
うまくいかなければ、それはまだ終わっていないということだ。

ジョンレノン

